

がん検診受診率の状況

項 目	現 状	目標(平成29年度)
胃がん(40～69歳)	33.3% (平成22年)	50%以上 (胃・肺・大腸は 当面40%以上) (平成28年の数値)
肺がん(〃)	26.3% (〃)	
大腸がん(〃)	27.8% (〃)	
乳がん (40～69歳、過去2年)	43.0% (〃)	
子宮がん (20～69歳、過去2年)	39.9% (〃)	

(注1) 国民生活基礎調査(厚生労働省)

- ・胃がん、肺がん、大腸がん検診受診率は過去1年の受診の有無での受診率。
- ・乳がん、子宮がん検診受診率は過去2年の受診の有無での受診率。

(注2) がん検診受診率の数値目標の出典については、別紙(千葉県がん対策推進計画素案P33)を参照

図表 4-1-10：千葉県がん検診受診率の調査別による比較

千葉県のがん検診受診率について、「生活習慣に関するアンケート（千葉県）」の平成 19 年度・平成 23 年度分、「国民生活基礎調査（厚生労働省）」の平成 19 年度・平成 22 年度分、「地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）」の平成 19 年度・平成 22 年度分を比較した。したがって、H22(H23)の欄には、平成 22 年の国民生活基礎調査及び地域保健・健康増進事業報告の数値と、平成 23 年度の生活習慣に関するアンケートの数値が記載されている。

単位：%

胃がん	生活習慣に関するアンケート	国民生活基礎調査	地域保健・健康増進事業報告
H19	39.5	31.1	13.7
H22(H23)	39.6	33.3	12.1

肺がん	生活習慣に関するアンケート	国民生活基礎調査	地域保健・健康増進事業報告
H19	45.3	27.8	30.0
H22(H23)	44.9	26.3	27.8

大腸がん	生活習慣に関するアンケート	国民生活基礎調査	地域保健・健康増進事業報告
H19	37.2	28.6	22.4
H22(H23)	36.8	27.8	22.5

子宮がん	生活習慣に関するアンケート	国民生活基礎調査	地域保健・健康増進事業報告
H19	35.4	27.3	[26.3]
H22(H23)	36.9	31.2[39.9]	[27.5]

※[]内の数値は過去2年での受診の有無での受診率

乳がん	生活習慣に関するアンケート	国民生活基礎調査	地域保健・健康増進事業報告
H19	36.2	31.0	[15.6]
H22(H23)	40.6	35.6[43.0]	[9.8]

※[]内の数値は過去2年での受診の有無での受診率

図表 4-1-11：各調査の特徴

調査名	実施主体	特徴
生活習慣に関するアンケート	千葉県	◆層化無作為により抽出した千葉県内在住の満 15 歳以上の男女各 3,000 人を調査。回答数 2,730 人/6,000 人 (H23) ◆県の健康づくりの方針である「健康ちば 21」に掲げた目標の達成状況の評価や、今後の健康づくりに反映させるために 2 年に 1 回実施している。
国民生活基礎調査	厚生労働省	◆層化無作為抽出した 5,510 地区内のすべての世帯(約 29 万世帯)及び世帯員(約 75 万人)を調査。回答数 229,785 世帯/289,363 世帯(H22) ◆毎年実施しているが、がん検診の受診状況は 3 年に 1 度調査を実施。
地域保健・健康増進事業報告	厚生労働省	◆毎年、各市区町村から厚生労働省へ報告する。 ◆地域住民の健康の保持及び増進を目的とした地域の特性に応じた保健施策の展開等を実施主体である保健所及び市区町村ごとに把握し、国及び地方公共団体の地域保健施策の効率的・効果的な推進のための基礎資料を得ることを目的としている。

(参考：がん検診受診率の数値目標の出典)

千葉県がん対策推進計画（第 1 次）では「生活習慣に関するアンケート」によりがん検診受診率の算定を行ってきたが、調査対象者数や回答数が少なく、全国のがん検診受診率との比較ができない。

また、地域保健・健康増進事業報告は、市町村が実施するがん検診受診者が対象であり、全国との比較はできるが、職域や人間ドッグ等でのがん検診受診者は含まれない。

よって、平成 25 年度からの千葉県がん対策推進計画（第 2 次）では、国民生活基礎調査結果の千葉県分を用いて、がん検診受診率の算定とする。

また、乳がん検診については、国との比較をするために 2 年受診の数値を用いて受診率の算出を行うが、県では乳がん検診ガイドラインを推奨していることから、1 年受診の数値についても参考とする。